



「ロータリーは  
分かちあいの心！」  
2007-2008 年度 RI テーマ

RI 会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン  
第 2640 地区ガバナー 平原祥彰



# 海南東ロータリークラブ

## ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

### 第 1507 回例会 19 年 11 月 12 日 (月)

海南商工会議所 12:30~

#### 1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」

#### 3. 出席報告

会員総数 69 名 出席者数 46 名 出席免除会員 1 名  
出席率 67.65% 前回修正出席率 73.53%

#### 4. 会長スピーチ

会長 山名 正一

今日は特別に報告することが御座いませんが、一昨日・昨日は気象予報に反して天候に恵まれ、2 日間に互った漆器まつり、日曜家庭用品まつりも大盛況でした。会場では、当クラブ会員である角谷さん、宇恵さん、多数の公職に就かれています。



関係上、イベント会場を駆け巡っていました。ご苦勞様でした。私も、2 日間多忙でした。初日は漆器祭りのイベントの手伝いで朝 7 時から夕方まで目一杯動きました。引続き昨日の日曜日は、海南、和歌山、有田、御坊のローターアクトと「あさひ学園」児童との交流会に参加し、サッカー、ボール投げ、キャッチボール、山すべり等のゲームを楽しみ、美味しいカレーライスをご馳走になりました。

本日この後、国際委員長の阪口さん、WCS 担当の寺下さんに WCS 事業としてフィリピンを訪問した際の報告をしていただきます。引続いた花田さんにはロータリー財団月間についての PR をさせていただきます。

#### 5. 幹事報告

○メーキャップ

和歌山西 RC 中村 雅行君 11/7

○例会臨時変更のお知らせ

有田 2000RC

11 月 21 日 (水) → 11 月 21 日 (水) 19:00~

橘屋 (御坊東ロータリーとの合同)

#### 6. 会員卓話

○ロータリー財団について

地区財団研究グループ交換等委員 花田宗弘君

ロータリー財団プログラムについてお話しします。

①ポリオ・プラス

多くの国々が基本的施設の不足、極貧、および内戦状態に陥っている中、その国々の子供たちがこの身体の機能を奪う疾病に躍らないよう確実に予防接種を受け、その後の監視活動を厳密に行うべく、ロータリアンは、これまでに数十万人を動員し、尽力してきました。発足以来、20 億以上の子供たちが経口ポリオ・ワクチンを受けてきました。

②ポリオ・プラス・パートナー  
ポリオ・プラス・パートナーは、ロータリアンがポリオの発生した国で社会動員や監視などのポリオ撲滅活動に寄与できるようにするプログラムです。

③保健、飢餓追放および人間性尊重 (3-H) 補助金

人々の健康状態を改善し、飢餓を追放し、人間性尊重を推進するための 1 年から 3 年にわたる大規模なプロジェクトに資金を提供するものです。

④マッチング・グラント

WCS などマッチング・グラントは、ロータリー・クラブと地区の国際奉仕プロジェクトに対する組み合わせ資金として授与されるものです。

⑤地区補助金

地区補助金は、地元または海外の地域社会における地区の短期奉仕活動、あるいは人道的な尽力活動を支援します。個人向け補助金

⑥国際親善奨学金

財団は、世界でも最大規模で、最も国際的な奨学金のプログラムを提唱しています。奨学生は自国以外の国へ留学し、非公式の「親善使節」として活躍します。

⑦大学教員のためのロータリー補助金

大学教員のためのロータリー補助金。この補助金は、3 カ月から 10 カ月間、発展途上国で教鞭を執る大学教員に授与されます。



#### 四つのテスト

- ① 真実かどうか ③ 好意と友情を深められるか  
② みんなに公平か ④ みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294 (海南商工会議所内)  
電話 (073) 483-0801 FAX (073) 483-2266

会長: 山名 正一 幹事: 上芝 良造 SAA: 上野山 雅也

### ⑧研究グループ交換(GSE)

毎年授与されるこの補助金は、組み合わせられた2つのロータリー地区に授与され、多種の職業に従事するロータリアン以外の人々から成るチームに旅費を提供します。

### ○WCSフィリピン・セブ島訪問報告

国際奉仕委員長 阪口 洋一君  
国際奉仕副委員長 寺下 卓君  
(世界社会奉仕担当)

私たちは、10月11日から14日まで、昨年度に実施いたしました世界社会奉仕(WCS)の成果確認と今後の活動について、支援先のフィリピン・マンドラウエー東RCのあるセブ島を訪問いたしました。訪問メンバーは、当クラブから林、新垣、花田、阪口、寺下(敬称略)、御坊東RCの雑賀さんの8名です。このプロジェクトは、海南東RC、海南西RC、御坊東RCの4クラブが共同で実施したもので、2006年2月17日に発生したレイテ島南部での地滑りの被害を受けた地域での医療支援、日本の中古パソコンを現地の小学校等へ送るIT教育支援を中心に多くの教育支援や生活環境改善活動




の支援に役立てられました。訪問の様子は、プロジェクトの写真をしながら説明させていただきます。また、今回の視察では、来年

5月に地区のWCS海外視察がフィリピン・セブ(R. I. D. 3860)に決まった関係もあり、同地区の多くの7クラブの例会に出席いたしました。いずれものクラブもメンバーが20名前後のクラブですが、社会奉仕活動に真剣に取り組んでいます。そして、今回の視察を契機に、私たち2640地区のサポートを望んでいます。各クラブの計画を取りまとめ、地区に報告し、支援を呼びかけたいと考えています。



### 8. 閉会点鐘



花畑重靖君 海南文化の集い実行員会でフォトコンテストやります。テーマは「海南」です。  
林 孝次郎君 会議の残金。(行き先がないので)  
山名正一君 寺下さんにWCSの報告をして頂きます。



### 柔軟性と長期的な焦点を 備え新しい補助金構成

ロータリー財団の新しい補助金構成モデルの下では、補助金はすべて2種類のうちのいずれかに該当し、また、教育的プログラムと人道的プログラムは統合されます。

現在の地区補助金をモデルとする第一の種類は、地区が管理するものです。財団が自分たちのものであるという一層の自覚をクラブと地区にもってもらうことを目的とするこの補助金は、18か月以内に完了される地元や海外でのプロジェクトを遂行するためのもので、より多くの柔軟性を備えています。財団の使命に関連し、これと一致している限り、幅広い種類の活動が認められます。クラブと地区は、地元や海外のニーズに取り組むために海外のクラブ(地区)と協力することができ、また、地域社会でのプロジェクトにおいて地元団体と協力することもできます。持続可能であることは必須条件ではありませんが、長期的な成果が得られるよう計画を立てることがクラブに奨励されています。

第二の種類は、焦点をさらに絞ったもので、3~5項目の重点分野のうち1分野における、大規模で持続可能なプロジェクトを支援します。重点分野はロータリアンが特定する世界の優先的ニーズであり、こうした分野においてロータリーの財政的リソースとボランティアのリソースが最大限に生かされ、持続的で測定可能な成果がもたらされるよう、財団はそのリソースを配分します。ロータリアンの関心と経験に基づくこれらの重点分野は、持続的で有益な結果を生み出すことのできる長期的な取り組みを可能にします。詳細は<http://www.rotary.org/>の「メディアとニュース」からご覧ください。

11月はロータリー財団月間です。

### 7. 次回例会

第1508回例会 平成19年11月19日(月)  
12:30~ 海南商工会議所4F